

損保クラウド	ハイブリッド
2 利用ガイド	操作方法

# サインイン

## 操作マニュアル

Ver 1.0

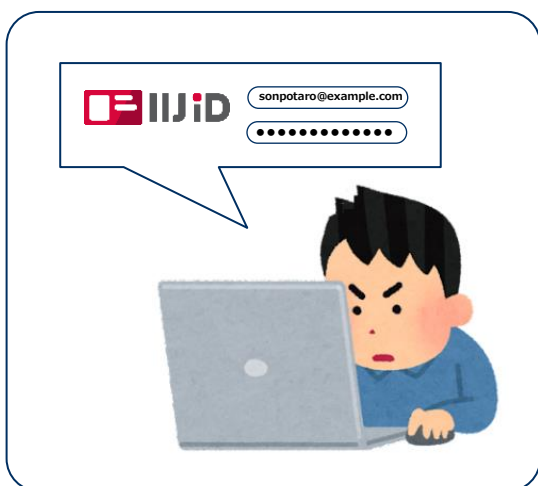
## 目次

サインイン  
操作マニュアル

1	はじめに.....	2
2	損保クラウドにサインインする .....	4
2.1	損保クラウドの初回サインイン .....	5
2.2	損保クラウドの通常サインイン .....	14
3	サインイン設定の変更と確認.....	19
3.1	パスワードの再発行 .....	20
3.2	多要素認証の通知先を変更する .....	21
3.3	サインインの履歴を確認する .....	25

# 1

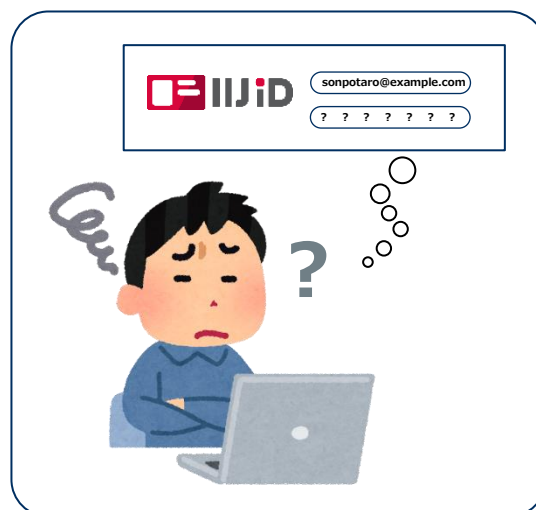
## はじめに



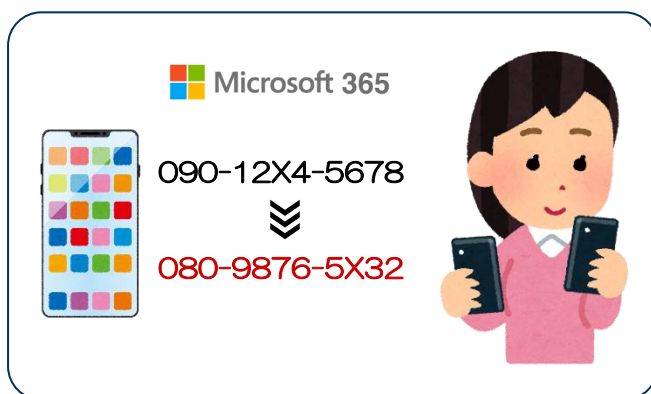
### ▶ 初めてのサインイン

初回サインイン時における仮パスワードの変更と、多要素認証の通知先の登録、通常利用する際のサインイン手順、更にはパスワード不明時の対処方法や、多要素認証の変更方法を掲載しています。

本マニュアルは、損保クラウドサービスを使用する際に必要となるサインイン手順と、これらに伴い発生したトラブルや、設定変更の方法を掲載した利用ガイドです。



### ! パスワードが分からない



### 💡 多要素認証の通知先を変更

最初の作業となるサインインが適切に進まない場合には、メール機能を含む Microsoft アプリの使用は出来ません。

これらを踏まえ、初回サインイン以降の通常運用する際にも、本マニュアルをご活用ください。

< 作業開始にあたり事前に必要な環境や情報 >

- ・ **インターネット接続**が可能な通信環境
- ・ 管理者アカウントでログインしている **Windows OS のパソコン**

※本書では以下の環境を利用しています。

パソコン: Windows 10 64bit インターネットブラウザ: Microsoft Edge

- ・ サインインに必要なパスワードを含む**認証情報**  
※認証情報は事前に管理者にご確認ください。

< 損保クラウドサービスのご利用時における推奨環境 >

以下のシステム要件に該当しない環境でのご利用は、**サポート対象外**となります

■オペレーティングシステム

Windows 10、Windows 8.1

※Mac OS 及びスマートフォンやタブレット端末の iOS、Android OS は動作保証外

■ブラウザ

Microsoft Edge、Safari 12.0.1 、Chrome 70.0.3538.110 、Firefox 63.0.3

(Safari/Chrome/Firefox についてはその時点の最新バージョンで利用)

※Teams のビデオ会議利用の場合は制限事項があります

■ハードディスク

Window: 使用可能ディスク領域 4.0 GB

■メモリ

Windows: 4GB RAM、2 GB RAM (32 ビット)

■コンピュータとプロセッサ

Windows: Windows: 1.6 GHz 以上、2 コア。

Skype for Business を使用する場合は 2.0 GHz 以上を推奨

■認証連携

先進認証を利用しているため、クライアントアプリ利用の場合は Office 2016 以降対象

Office 2013 はレジストリ変更が必要。それ以下のバージョンは非対応

# サインイン 操作マニュアル

## 2

### ▶ 損保クラウドに サインインする

☒  ☒  Microsoft 365

損保クラウドサービスのご利用にあたり、「開通のご案内」に記載しているユーザーID とパスワードを用いた初回サインインの手順をご案内します。

また、初回サインインの際に実施したセキュリティ設定により、その後の通常利用時における多要素認証でのサインイン方法と、メールやストレージ機能のアプリ機能となる Microsoft 365 の画面表示までを、本章ではご案内します。

#### Chapter

2.1 損保クラウドの初回サインイン

2.2 損保クラウドの通常サインイン

## 2.1

▶ 損保クラウドにサインインする

## 損保クラウドの初回サインイン





ここからの作業は



「開通のご案内」に記載の“メールアドレス情報”にて初回サインインし、パスワードの変更と、多要素認証の際に必要な、SMS のコード通知先となる電話番号を登録します。

損保クラウドサービスでは、新規ご契約以降に申込内容の詳細を含む、利用可能なユーザー情報を記載した以下例のような「**開通のご案内**」を提供しています。

※例 <ハイブリッドプラン 開通のご案内>

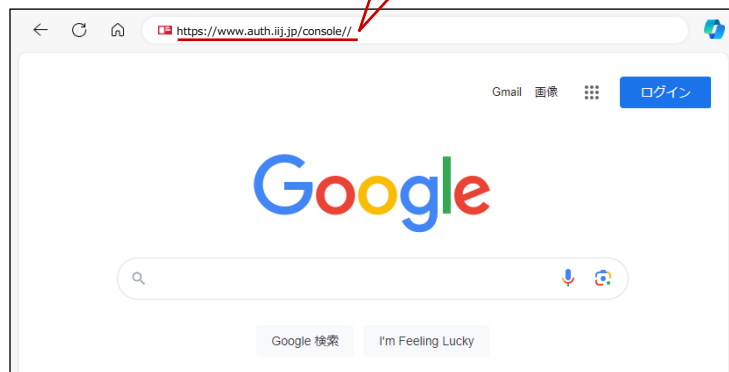
 		<b>開通のご案内</b>	N2300XXXXXX
<p>Microsoft 365をお申込みいただき、誠にありがとうございます。          サービスご利用の準備が整いましたので、基本情報をお知らせいたします。          お客様情報や設定に関する情報をご案内しておりますので、大切に保管してください。</p>			
<b>■お客様情報</b>			
ご利用開始日	2023/9/1		
ご契約者名	損保 太郎		
お客さま番号	N2300XXXXXX		
ご利用サービス名	損保クラウドサービスMicrosoft365/パッケージ ハイブリッドプラン		
ご利用製品名	Microsoft 365 Business Basic		
<b>■ご契約情報</b>			
<b>申込内容</b>			
ご利用ID数	1	ID	
ドメイン情報	example.com		
<b>ID IDログイン情報(メールやMicrosoft365の各種機能のご利用はこちら)</b>			
ログイン先URL	<a href="https://www.auth.iij.jp/console/">https://www.auth.iij.jp/console/</a>		
<b>DNSサービスオプション</b>			
ゾーン名 (正引き)	example.com		
コントロールパネルURL	<a href="https://nwp.ntt.com/dnshosting">https://nwp.ntt.com/dnshosting</a>		
認証ID	XXXXXXXXXX		
認証パスワード	XXXXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXX		
プライマリDNSサーバ名	ns6-tk01.ocn.ad.jp		
プライマリDNS IPアドレス	61.207.9.4		
セカンダリDNSサーバ名	ns6-tk02.ocn.ad.jp		
セカンダリDNS IPアドレス	61.207.9.36		
<b>■導入支援情報</b>			
<b>DNSゾーン情報サポートサービス</b>		利用する	
<b>■メールアドレス管理情報</b>			
	ユーザー名	ログイン情報	注文内容
1	損保 太郎	ユーザーID sonpotaro@example.com パスワード読み仮名 XXXXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXX パスワード(*1) XXXXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXX	追加

(\*1) 仮パスワードの有効期限は、2023年11月25日までとなっております。有効期限を過ぎた場合はパスワード再発行となります。

初回サインイン時に必要なユーザーID とパスワードは、「開通のご案内」の“**メールアカウント情報**”に記載していますので、本章での作業開始するにあたり、事前にご準備ください。

- (1) インターネットブラウザにて、「開通のご案内」の“ご契約情報”に記載の[ログイン先 URL]  
< <https://www.auth.ij.jp/console/> > へアクセスします。

■ご契約情報	
申込内容	
ご利用ID数	1 ID
ドメイン情報	
ドメイン名	example.com
IIJ IDログイン情報(メールやMicrosoft365の各種機能のご利用はこちら)	
ログイン先URL	<a href="https://www.auth.ij.jp/console/">https://www.auth.ij.jp/console/</a>



- (2) 「開通のご案内」の“メールアドレス情報”に記載の[ユーザ ID] と [パスワード] を各画面に入力（コピー）し、[次へ] をクリックします。

■メールアドレス情報				
	ユーザ名	ログイン情報		注文内容
1	損保 太郎	a ユーザID	sonpotaro@example.com	追加
		b パスワード読み仮名	パスワード読み仮名	
		パスワード(*1)	パスワード(*1)	

IIJiD

■ ID

a

sonpotaro@example.com

次へ



IIJiD

■ ID

sonpotaro@example.com

■ 仮パスワード

b

.....

次へ

※ID を誤入力してもエラーとはならず [次へ] はクリックが出来るため、入力内容に相違が無いかをご確認ください



システムによる自動生成で発行されたパスワードに含まれる記号の読み方が、サインイン時に不明な場合には、以下サポートサイトの「よくあるご質問」を参照ください。

[開通のご案内に記載されている ID とパスワードに読めない記号があります。](#)

## 💡 IIJ ID のサインインについて

### < IIJ ID のサインイン画面を「お気に入り」に登録する

損保クラウドサービスでは、機能上の正常性維持とセキュリティ仕様により、インターネットブラウザにて、IIJ ID の管理コンソールに都度アクセスしてのサインインが必要です。

IIJ ID の管理コンソールでのサインイン画面を、インターネットブラウザの「お気に入り」に追加する事により、簡易的なアクセスが可能です。

★マークをクリックすると  
「お気に入り」として登録されます

- ご利用のインターネットブラウザが Microsoft Edge の場合 -



### < IIJ ID サインインに失敗し、ユーザーアカウントがロックされた場合

IIJ ID のサインイン時に入力するパスワード情報が相違し、サインインを 10 回連続で失敗した際には、対象ユーザーに対してロック処理が実施され、ログインが出来なくなります。

上記の場合には、10 分程度で対象ユーザーへのロックは自動的に解除されるので、再度のサインインはその後にお試しください。

### < 「開通のご案内」に記載の情報でサインイン出来ない場合>

「開通のご案内」のログイン情報（ID・パスワード）が正しいにもかかわらず、サインイン出来ない場合には、[「損保クラウドサービス 技術的なお問い合わせ」](#)までご連絡ください。

また、「パスワードを忘れた場合」が表示している場合には、クリックは控え、この旨も合わせて窓口にお伝えください。

※「パスワードを忘れた場合」から処理は出来ませんのでご注意ください



「パスワードを忘れた場合」  
はクリックしません



- (3) 「新しいパスワードの設定」にて「仮パスワード」（「開通のご案内」に記載のパスワード情報）と、「新しいパスワード」を確認用と合わせて各入力し、**パスワードを設定する**をクリックします。

“新しいパスワード”は10桁以上で、以下条件が必須です。

- ・アルファベット大文字
- ・数字
- ・アルファベット小文字
- ・記号

※利用可能な記号は以下の種類

!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@[ ]^\_`{|}~|

※仮パスワードと同一での設定は不可

※上記は「パスワードのヘルプを開く」でも確認可能

“新しいパスワード”は●の伏字で表示されるため、誤入力の対策として、メモ帳などに文字が見える状態で一度入力し、それをコピーしたものを設定箇所貼り付ける方法が安全です。



### 仮パスワードの有効期限について

「開通のご案内」の“メールアドレス情報”に記載のパスワードは、初回サインイン時に初期値から任意値への変更が要求され、その際の**仮パスワードの有効期限は90日**となります。

※＜仮パスワードの有効期限 記載例＞

■メールアドレス情報			
ユーザ名		ログイン情報	
1	損保 太郎	ユーザID	sonpotaro@example.com
		パスワード読み仮名	●●●●●●●●●●
		パスワード(*1)	●●●●●●●●●●

(\*1) 仮パスワードの有効期限は、2023年12月23日までとなっております。有効期限を過ぎた場合はパスワード再発行となります。

有効期限の90日を経過した仮パスワードは無効となり、「開通のご案内」の情報ではサインインは出来ないため、**仮パスワードの再発行**が必要となりますので、以下の担当窓口までご依頼ください。

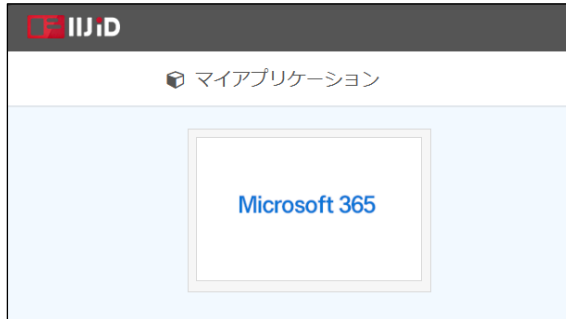
#### ■仮パスワード再発行のご依頼について

[新規お申し込み、ご契約について](#)に関するお問い合わせのご案内

※ 再発行には一定の日数と費用が生じますが、詳細は窓口にてご確認ください

なお、サインイン画面に「[パスワードを忘れた場合](#)」が表示していた場合には、このリンクから再発行の処理は出来ませんので、ご注意ください。

- (4) IIJ ID の「マイアプリケーション」に遷移するので、  
[Microsoft 365] のタイルをクリックします。



- (4) 切り替わった Microsoft 365 の“詳細情報  
が必要”にて、[次へ] をクリックします。



### Microsoft 365 をクリック時にエラーメッセージが表示した場合

IIJ ID からの初回サインインを実施した際に、マイアプリケーションの画面にて「Microsoft 365」をクリック時に、以下のようなメッセージによりエラーとなる場合があります。

「申し訳ありませんが、サインイン中に問題が発生しました。管理者に問い合わせる場合、この情報を送信してください」

Message: AADSTS500082: SAML assertion is not present in the token.

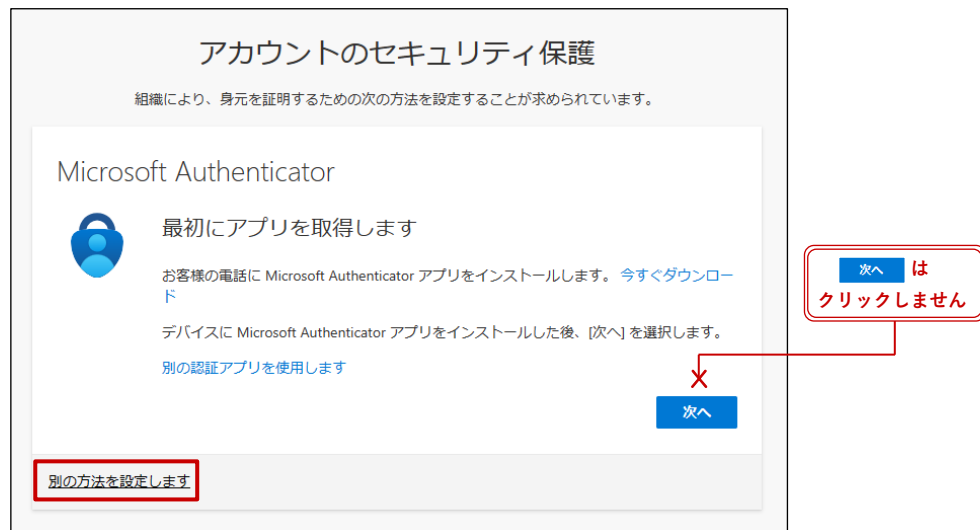
このような場合には、まずは[キャッシュクリア](#)、または[インプライベートウィンドウ](#)を使用する方法にて、サインイン後の画面が正常に遷移するかをお試してください。

前述の対処を実施してもエラーの状態が改善しない場合には、弊社にて設定の見直しを実施いたしますので、以下の担当窓口エラーメッセージを添えてお問い合わせください。

■初回サイン時のエラー AADSTS500082 について

[損保クラウドサービス 技術的なお問い合わせ](#)

(5) 遷移した「アカウントのセキュリティ保護」にて「別の方法を設定します」をクリックします。



### 「アカウントのセキュリティ保護」を設定時の注意点

#### < “別の方法を設定します” のリンクが表示していない場合 >

Microsoft 365 のタイルをから遷移する「アカウントのセキュリティ保護」の画面にて、本ページ (5) 「別の方法を設定します」のリンクが表示していない場合があります。このような状態の場合、弊社にて詳細を確認いたしますので、**次へ** はクリックせずに、以下の窓口に「別の方法を設定します」が表示していない旨をお問い合わせください。

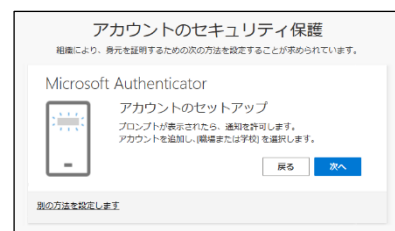
■「別の方法を設定します」が未表示の場合について

[損保クラウドサービス 技術的なお問い合わせ](#)

#### < Microsoft Authentication アプリの取得について >

「アカウントのセキュリティ保護」にて、本来とは異なる **次へ** をクリックした場合、アプリでのセットアップとなり、サインインに伴う多要素認証はアプリに限定されます。

アプリでの運用にて、モバイル端末の機種変更により認証不可となった場合には、有償対応となる場合もありますので、必ず**「別の方法を設定します」**をクリックしてください。



- (6) [別の方法を選択します] のウィンドウが表示するので、プルダウンメニューから **a** “電話” を選択し、**b** [確認] をクリックします。

別の方法を選択します  
どの方法を使用しますか?

**a** 電話

キャンセル **b** 確認

- (7) 「アカウントのセキュリティ保護」における“電話”での認証方法の画面へと遷移するので、右記の手順で設定を実施します。

アカウントのセキュリティ保護

組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。

電話

電話で呼び出しに回答するか、携帯ショートメール (SMS) によるコードの送信により、本人確認ができます。  
どの電話番号を使用しますか?

**a** Japan (+81) **b** 080XXXX2468

☒ コードを SMS 送信する **c**  
☐ 電話する

メッセージとデータの通信料が適用される場合があります。[次へ] を選択すると、次に同意したことになります  
サービス使用条件 および プライバシーと Cookie に関する声明。

**d** 次へ

別の方法を設定します

a	プルダウンメニューより [Japan(+81)] を選択
b	SMS の受信が可能な 電話番号を入力
c	[コードを SMS 送信する] をチェック
d	[次へ] をクリック

※SMS の受信が可能な携帯電話の  
ご用意が必要です

<携帯電話で受信する SMS の通知例>

メッセージ

+81 80 5317 7709 10:34 >

Microsoft 認証に確認コード 074502 を使用  
します。

- (8) 登録した電話番号に SMS が届くので、「アカウントのセキュリティ保護」の入力箇所に SMS に記載の **a** コードを入力し、**b** [次へ] をクリックします。

アカウントのセキュリティ保護

組織により、身元を証明するための次の方法を設定することが求められています。

電話

+81 090-1111-1111 に 6 桁のコードをお送りしました。コードを以下に入力してください。

**a** 074502

コードの再送信

戻る **b** 次へ

- (9) 入力コードが認証された場合には、SMS の通知先となる電話番号が登録された旨のメッセージが表示するので **a [次へ]** をクリック、遷移した次の画面で **b [完了]** をクリックします。



ここまでの作業により、初回サインイン時における仮パスワードの変更と、多要素認証の登録が完了したので、次ページは通常利用する際のサインイン手順と同様の画面遷移となります。

### 💡 受信する SMS の認証コードについて

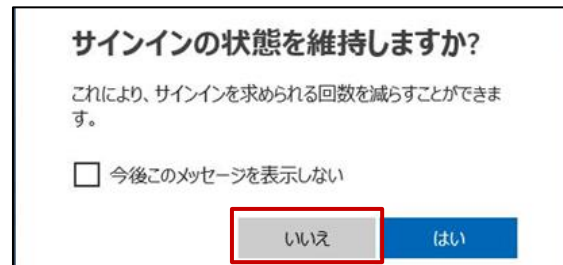
「アカウントのセキュリティ保護」の設定の際に受信する SMS は、Microsoft より国外から発信されており、メッセージに記載している送信元は、認証毎に異なる番号で通知される場合があります。

送信元の電話番号（国外）  
は都度異なる場合有

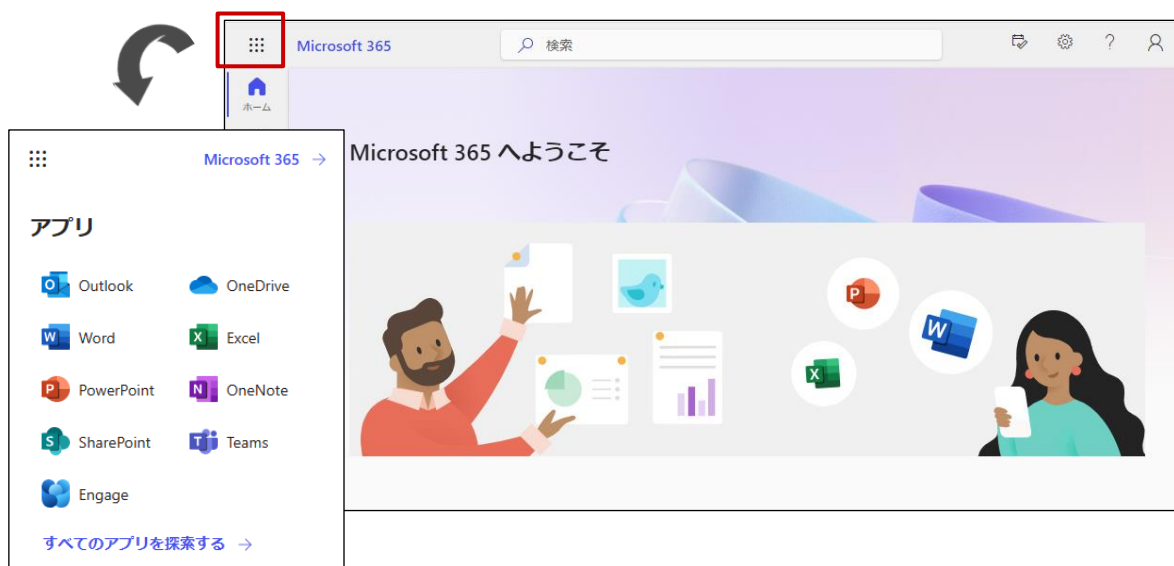


設定時にエラーは発生していないにもかかわらず SMS が届かない場合、受信側のセキュリティにて国外を発信元とする SMS をスパム判定し、受信拒否や隔離処理されている可能性がありますので、このような場合に判定から除外するなどの処置は、ご契約の通信キャリアにお問合せください。

- (10) 「サインインの状態を維持しますか？」の画面が表示されますが、利用後にも Microsoft 365 のサインインが維持されるのを回避するための推奨として、「いいえ」をクリックします。



- (11) 通常利用する際の Microsoft 365 の画面に遷移するので、左上のメニュー箇所をクリックして表示するアプリ一覧から、Web 版の Outlook や One Driveなどを起動して利用が可能です。



### Microsoft 365 アプリの利用について

損保クラウドサービスが提供しているインターネットブラウザで使用する Microsoft 365 アプリにて、比較的に利用頻度が高い Outlook や One Drive については、以下マニュアルに一般的な使用方法を掲載していますので、必要な場合には適宜ご参照ください。

[■損保クラウド【ハイブリットプラン】設定マニュアル](#)

3. Microsoft 365 操作マニュアル

## 2.2

▶ 損保クラウドにサインインする

### 損保クラウドの通常サインイン

 IIJ ID  Microsoft 365



ここからの作業は



初回以降の通常サインインする際に、IIJ ID を経由し多要素認証を経て、Microsoft 365 の Outlook や One Drive などの、Web アプリを起動までの手順をご案内します。

- (1) 「開通のご案内」に記載の [\[ログイン先 URL\]](#) へアクセスし、ユーザ ID と「2.1 損保クラウドの初回サインイン」[\(3\)](#) で変更したパスワードを各画面に入力し、[次へ] をクリックします。



※ID を誤入力してもエラーとはならず [次へ] はクリックが出来るため、入力内容に相違が無いかをご確認ください




※パスワードが相違または不明な場合、「パスワードを忘れた場合」はクリックせず、リセット対応として管理者にご依頼ください



ショートカットを利用してのサインインはエラーの原因となります

ご利用のインターネットブラウザにて、右のような**ショートカット**を作成し、このアイコンを起動して、IIJ ID のアクセスとサインインはお控えください。

上記手法を繰り返す事で処理に不整合が生じ、これにより従来の動作に影響して、**サインイン時にエラー**となる場合があります。

IIJ ID の管理コンソールへ簡易的にアクセスしたい場合には、次ページに掲載している < IIJ ID のサインイン画面を [お気に入り] に登録する > の運用をご検討ください。



## 💡 IIJ ID のサインインについて

### < IIJ ID のサインイン画面を「お気に入り」に登録する

損保クラウドサービスでは、機能上の正常性維持とセキュリティ仕様により、インターネットブラウザにて、IIJ ID の管理コンソールに都度アクセスしてのサインインが必要です。

IIJ ID の管理コンソールでのサインイン画面を、インターネットブラウザの「お気に入り」に追加する事により、簡易的なアクセスが可能です。

★ マーク をクリックすると  
「お気に入り」 として登録されます

- ご利用のインターネットブラウザが Microsoft Edge の場合 -



### < IIJ ID サインインに失敗し、ユーザーアカウントがロックされた場合

IIJ ID のサインイン時に入力するパスワード情報が相違し、サインインを 10 回連続で失敗した際には、対象ユーザーに対してロック処理が実施され、ログインが出来なくなります。

上記の場合には、10 分程度で対象ユーザーへのロックは自動的に解除されるので、再度のサインインはその後にお試しください。

### < 変更済パスワードでサインイン出来ない場合>

仮パスワードから変更した“新しいパスワード”の相違や、失念によりサインイン出来ない場合には、再発行が必要となりますので、そのような場合には「[損保クラウドサービスお問合せ](#)」までご連絡ください。

※ 「パスワードを忘れた場合」が表示していた場合、このリンクから再発行の処理は出来ません

※ パスワードの再発行には一定の日数と費用が生じます



「パスワードを忘れた場合」  
はクリックしません



### ⚠ キャッシュによるサインインの影響


使用するインターネットブラウザにて、処理を簡素化するために閲覧記録などの情報を一時保存するキャッシュ機能により、サインイン時に以下のような影響が生じる場合があります。

- ・ IIJ ID から遷移する Microsoft 365 のタイルをクリックした際に**エラーメッセージ**
- ・ サインイン後に遷移した画面上のアカウント情報が、異なる**別のユーザー名**で表示
- ・ **多要素認証をしていない**にもかかわらず、Microsoft 365 の画面まで遷移が可能

上記事象は、主に同一ブラウザにて異なる複数のアカウントを使い分けしている場合において、**キャッシュを要因として処理が不整合**となり、これにより正常動作に至らない場合に発生します。

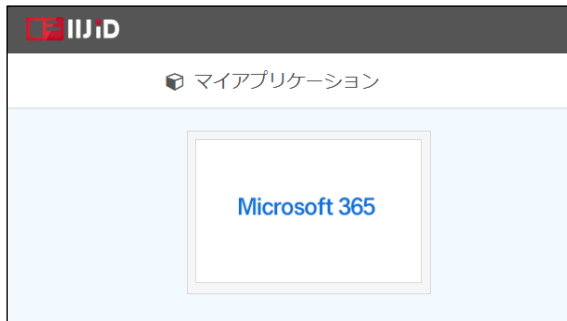
このような場合、サポートサイトの“よくあるご質問”の「損保クラウドにログインできません」に掲載している**キャッシュクリア**、または**インプライベートウィンドウ**を使用する方法にて、サインイン後の画面が従来通りに遷移するかをお試しください。

損保クラウド > よくあるご質問

 <p><b>【Microsoft Edge】</b> 正しいユーザ ID とパスワードを入力しても 損保クラウドにログインできません</p>	»»	
 <p><b>【GoogleChrome】</b> 正しいユーザ ID とパスワードを入力しても 損保クラウドにログインできません</p>	»»	

また、パスワードや多要素認証のリセットなど、アカウント設定を変更後の初回サインイン時において、上記事例と同様に正常動作に至らない場合には、同様にキャッシュクリア等の対処により、事象が改善する可能性もありますので、このような場合にもお試しください。

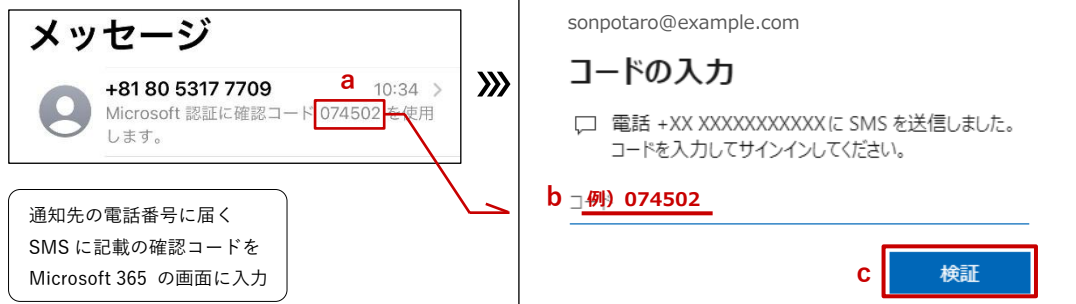
- (2) IJ ID の「マイアプリケーション」に遷移するので、  
[Microsoft 365] のタイルをクリックします。



- (3) 多要素認証による電話の通知選択が表示するので、“SMS を送信” をクリックします



- (4) 通知先に届く SMS に記載の **a** コードを、遷移した画面に **b** 入力、**c** [検証] をクリックします。



### 受信する SMS の認証コードについて

SMS は Microsoft より国外から発信されており、認証毎に異なる番号で通知される場合があります。

送信元の電話番号（国外）  
は都度異なる場合有



SMS が届かない場合、受信側にて国外を発信元とする SMS をスパム判定し、受信拒否や隔離処理されている可能性がありますので、詳細はご契約の通信キャリアにお問合せください。

- (5) 「サインインの状態を維持しますか？」の画面が表示されますが、利用後にも Microsoft 365 のサインインが維持されるのを回避するための推奨として、「いいえ」をクリックします。

**サインインの状態を維持しますか？**

これにより、サインインを求められる回数を減らすことができます。

☐ 今後このメッセージを表示しない

いいえ
はい

**Microsoft**

sonpotaro@example.com

**サインインするアカウントの詳細を確認する**

正しいアカウントにサインインするために、アカウントの詳細を確認してください。これらの詳細に不明な点がある場合は、管理者にお問い合わせください。

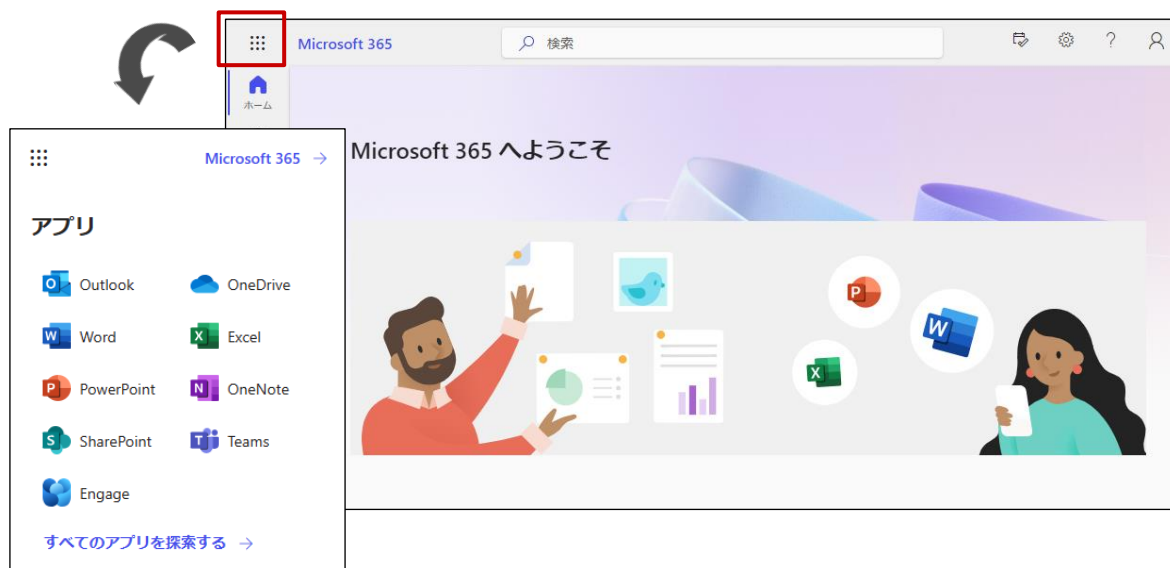
テナントのドメイン:  
n100xxxx.insurance-agt.ne.jp

キャンセル
確認

「サインインするアカウントの詳細を確認する」が表示した場合は、[確認]をクリックします。

メッセージの表示有無は、利用状態により異なり、ご利用のインターネットブラウザの Cookie に依存します

- (6) 通常利用する際の Microsoft 365 の画面に遷移するので、左上のメニュー箇所をクリックして表示するアプリ一覧から、Web 版の Outlook や One Driveなどを起動して利用が可能です。



# サインイン 操作マニュアル

## 3

### ▶ サインイン設定 の変更と確認

☒  ☒  Microsoft 365

本章では、損保クラウドサービスのサインインに関する応用的な設定方法や手続き手順として、パスワードの相違や失念した際の再発行、多要素認証における SMS の通知先となる電話番号の変更方法と、IIJiD のサインイン履歴の確認方法をご案内します。

#### Chapter

- 3.1

    パスワードの再発行

---

- 3.2

    多要素認証の通知先を変更する

---

- 3.3

    サインインの履歴を確認する

---

# 3.1

## ▶ サインイン設定の変更と確認

### パスワードの再発行



損保クラウドサービスを利用する際に必要なサインイン時のパスワードについて、以下のような理由で認証不可となり、結果としてサインイン後に利用が可能なメールやストレージ機能など、Microsoft 365 アプリの画面までには至らない場合があります。

- ・ 変更済みパスワードの**値が認識とは異なり**、サインイン時に認証エラー
- ・ 変更済みパスワードの**失念**により、項目に値を入力する事が出来ない
- ・ サービス開始からサインインしておらず、[仮パスワードの有効期限切れ](#)

※パスワード相違でサインインに失敗した場合

ID 誤入力も同画面となるため  
内容に相違が無いかな要確認

💡 サインインを 10 回連続で  
失敗すると **10 分間ロック**され、  
その後に自動解除されます

⚠ 「パスワードを忘れた場合」  
のリンクが表示時には、  
ここは**クリック禁止**

上記例のような状況により、サインインが出来ない場合には、弊社の担当窓口にてリセット処理に伴うパスワードの再発行が必要となりますので、以下の担当窓口までご依頼ください。

#### ■パスワード再発行のご依頼について

[新規お申し込み、ご契約について](#)に関するお問い合わせのご案内

※ 再発行には一定の日数と費用が生じますが、詳細は窓口にてご確認ください

## 3.2

### ▶ サインイン設定の変更と確認

## 多要素認証の通知先を変更する

Microsoft 365



ここからの作業は

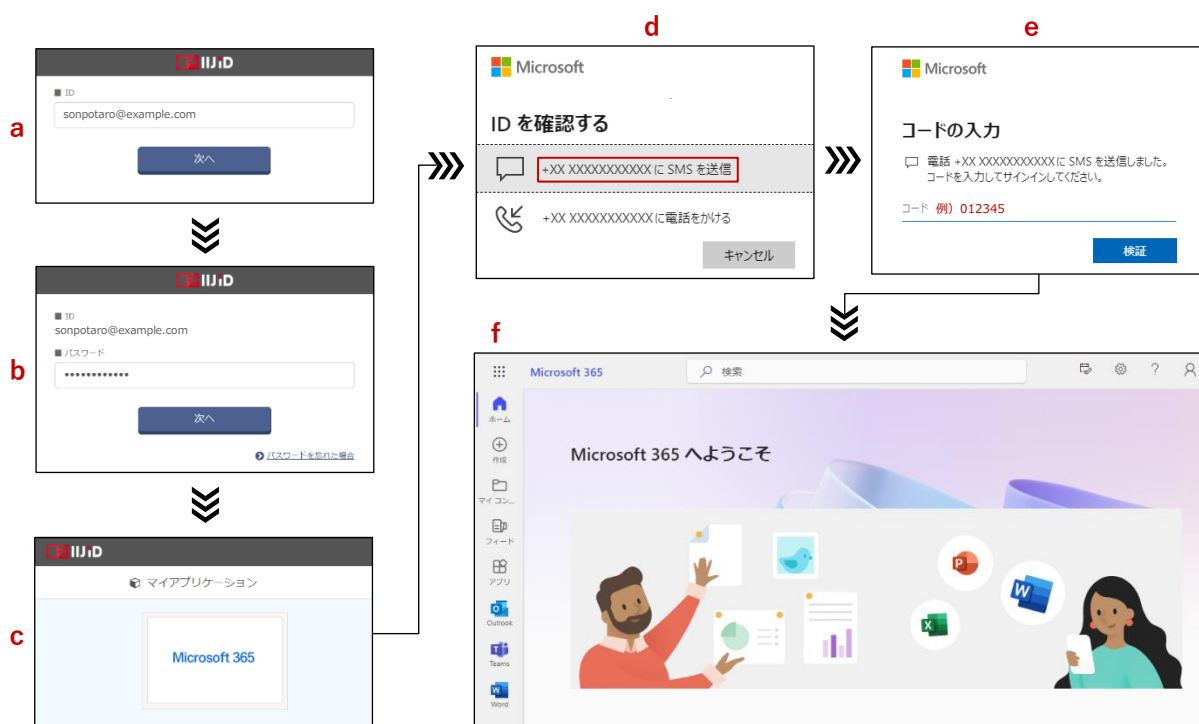


多要素認証で使用しているモバイル端末の変更が必要な場合において、これに伴い SMS の通知先としている電話番号も、登録変更する際の設定手順をご案内します。

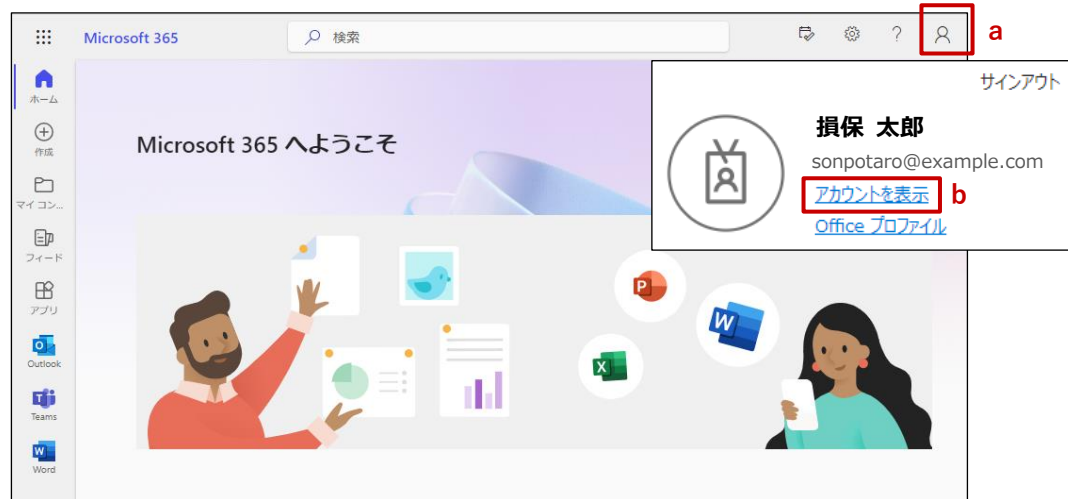
本章での作業は、**変更前と変更希望の両方のモバイル端末（電話番号）**が必要です。

※現状での登録端末を未所持の場合、[「通知先の登録変更が出来ない場合」](#)を参照ください

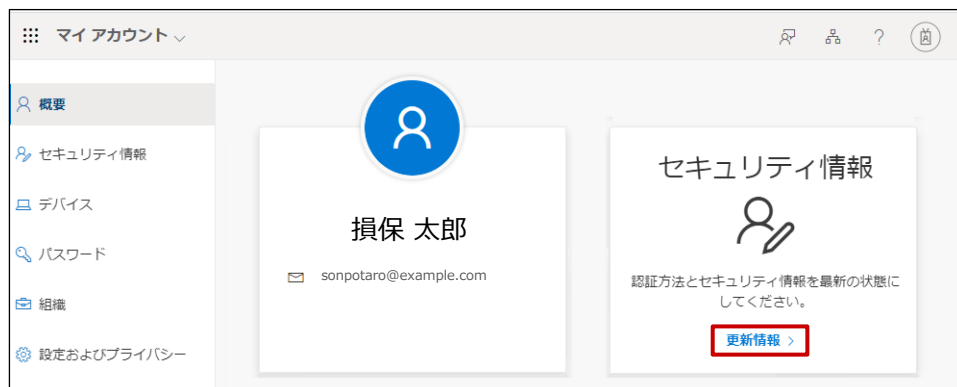
- (1) [「2.2 損保クラウドの通常サインイン」](#)の手順で、現状で登録している電話番号に届くコードにて多要素認証を実施し、従来通りに Microsoft 365 の画面まで遷移します。



- (2) Microsoft 365 の画面にて、右上の **a** “マイアカウント” の箇所をクリック、表示した画面より **b** [アカウントを表示] をクリックします。



- (3) 遷移した「マイアカウント」の [セキュリティ情報] の項目より、“更新情報” をクリックします。



- (4) 「セキュリティ情報」画面にて、サインイン方法が“電話”、通知先となる**現状の電話番号**が表示されているのを確認の上、[変更] をクリックします。



- (5) 表示する「電話」の詳細画面にて、登録されている現状における通知先となる電話番号を、新たに **a 変更したい電話番号** に修正し、**b [次へ]** をクリックします。

**電話**

電話で呼び出しに応答するか、携帯ショートメール (SMS) によるコードの送信により、本人確認ができます。

どの電話番号を使用しますか?

日本 (+81) **a** 080XXXXXXXX

☒ コードを SMS 送信する  
☐ 電話する

メッセージとデータの通信料が適用される場合があります。[次へ] を選択すると、次に同意したことになります: [サービス使用条件](#) および [プライバシーと Cookie に関する声明](#)。

キャンセル **b** 次へ

変更したい通知先の電話番号に修正

- (6) 登録を変更した通知先の電話番号に届く SMS に記載の **a コード**を、遷移した「電話」画面に **b 入力**、**c [次へ]** をクリックします。

**メッセージ**

+81 80 5317 7709 **a** 10:34 >  
Microsoft 認証に確認コード 074502 を使用します。

通知先の電話番号に届く SMS に記載の確認コードを Microsoft 365 の画面に入力

**電話**

+81 070XXXXXXXXX 6 桁のコードをお送りしました。コードを以下に入力してください。

例) 074502 **b**

コードの再送信

戻る **c** 次へ

**電話**

✓ SMS が検証されました。お使いの電話が正常に登録されました。

完了

入力したコードが適切に認証された場合、変更した電話番号が正常登録された旨のメッセージ画面に遷移するので、**[完了]** をクリックします。





### 受信する SMS の認証コードについて

SMS は Microsoft より国外から発信されており、認証毎に異なる番号で通知される場合があります。

送信元の電話番号（国外）  
は都度異なる場合有

#### メッセージ



+81 80 5317 7709

10:34 >

Microsoft 認証に確認コード 074502 を使用  
します。

SMS が届かない場合、受信側にて国外を発信元とする SMS をスパム判定し、受信拒否や隔離処理されている可能性がありますので、詳細はご契約の通信キャリアにお問合せください。



### 通知先の登録変更が出来ない場合

多要素認証の通知先を変更するにあたり、以下例のように登録している電話番号が既に使用不可、または登録番号のモバイル端末を所持していない場合には、自身での**登録変更は出来ません**。

#### 多要素認証のリセットを必要とする場合

例 1) 携帯電話の機種変更などにより、SMS の  
通知先となる電話番号が変更となった



090-12X4-5678

⇓

080-9876-5X32



例 2) 利用していた携帯電話の紛失などにより、  
SMS の通知確認が出来なくなった



例 3) Microsoft Authenticatorアプリを使用時に、  
認証が出来なくなった



NG



※ Microsoft Authenticatorアプリの利用は推奨外です

このような場合、弊社側で多要素認証のリセット処理を実施し、その後にお客さま自身で新たな  
通知先の再登録が必要となりますので、以下の担当窓口までご依頼ください。

■通知先変更に伴う多要素認証のリセット

[損保クラウドサービス 技術的なお問い合わせ](#)

# 3.3

## ▶ サインイン設定の変更と確認

### サインインの履歴を確認する



ここからの作業は



自身が損保クラウドにサインインした際の日時、IP アドレスやデバイスなどの接続元を、IIJ ID の履歴情報から確認する方法です。

- (1) 「開通のご案内」に記載の [【ログイン先 URL】](#) へアクセスし、ユーザ ID と「2.1 損保クラウドの初回サインイン」 [\(3\)](#) で変更したパスワードを各画面に入力し、[次へ] をクリックします。

※ID を誤入力してもエラーとはならず [次へ] はクリックが出来るため、入力内容に相違が無いかをご確認ください



※パスワードが相違または不明な場合、「パスワードを忘れた場合」はクリックせず、リセット対応として管理者にご依頼ください

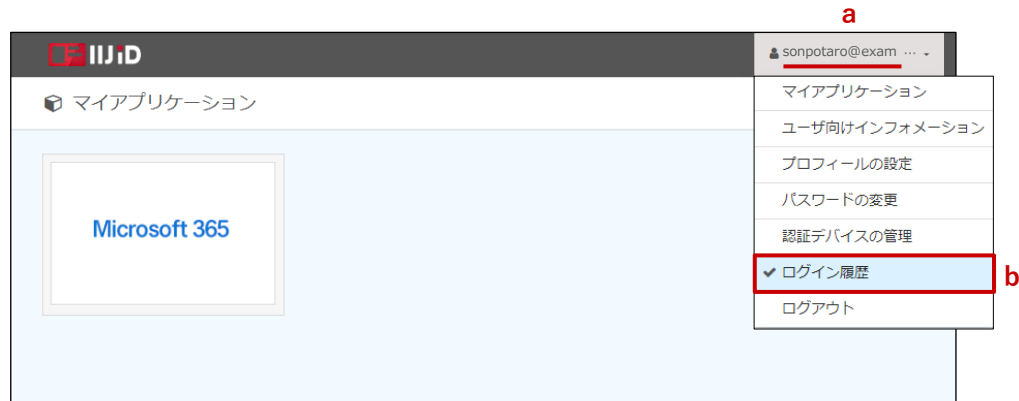


#### サインインに失敗しロックされた場合

サインイン時に入力するパスワード情報が相違し、**10 回連続で認証失敗**した際には、対象ユーザーに対してロック処理が実施され、一時的にサインインが出来なくなります。

ロックは **10 分程度で自動的に解除**されるので、再度のサインインはその後にお試しください。

- (2) 遷移した IIJ ID の画面右上に表示している **a アカウント名の箇所**をクリック、展開したメニュー項目から、**b [ログイン履歴]** を選択します。



- (3) 「ログイン履歴」にて、自身のアカウントでサインインした際の詳細が、一覧として表示します。

ログイン履歴				
<ul style="list-style-type: none"> <li>90日間のログイン履歴を参照できます。</li> <li>最新のものから最大100件のログを表示しています。</li> </ul>				
ログイン日時	IPアドレス	認証要素	デバイス	FIDO2セキュリティキー
2023/10/05 11:42:17	223.229.229.229	パスワード認証	Chrome 117.0.0.0 (Windows 10 64-bit)	
2023/10/05 11:40:09	223.229.229.229	仮パスワード認証	Chrome 117.0.0.0 (Windows 10 64-bit)	
2023/09/26 15:14:48	223.229.229.229	パスワード認証	Chrome 116.0.0.0 (Windows 10 64-bit)	
2023/09/11 14:10:22	223.229.229.229	パスワード認証	Microsoft Edge 116.0.1938.69 (Windows 10 64-bit)	



#### 認識していないサインイン記録について

損保クラウドサービスでは、利用者毎に登録ユーザーの契約が原則となり、Microsoft 365 の規約と合わせ、サインイン時の不整合な処理動作を抑止するため、同一のユーザーアカウントを**複数名で共有しての利用は禁止**しております。

これらを踏まえ、「ログイン履歴」での日時や接続元 IP アドレスが、自身が認識している状況とは異なり、心当たり無い履歴が散見している場合には、不正使用の可能性へのセキュリティ対処として、当該ユーザーアカウントのパスワード再発行や、多要素認証の通知先変更をご検討ください。

[3.1 パスワードの再発行](#)

[3.2 多要素認証の通知先を変更する](#)

損保クラウド

ハイブリッド

利用ガイド

# サインイン

## 操作マニュアル

2023 年 11 月 初版 Ver1.0 発行

執筆・構成



- ・ サービスが正常に提供出来ている状態で、お客様が任意で利用した各機能でセキュリティ事故が発生した場合、弊社側での責任は負いかねます。
- ・ 本書に記載の情報は、発行時点における各機能の画面構成を基に掲載しておりますが、提供元の仕様変更などにより、設定方法やレイアウトが実際の画面とは異なる場合がございます。